



災害への備え

在宅療養を行う方への支援情報

今、できること



1. お住いの地域の災害情報を知りましょう

- ハザードマップの確認
- 予想される災害と危険性を知る
- 避難の準備をしておく



2. 主な警報と災害情報を知って災害に備えましょう

- 緊急地震速報は、最大震度 5 弱以上の場合に震度 4 以上が予想される地域に発表されます

3. 避難のタイミング・避難経路・避難先の確認を行いましょう

- 平時から災害が起きた場合を想定して、各市町村の医療的ケア児等コーディネーターや相談支援専門員へ相談し、個別の避難計画を作成しましょう
- 地域の避難訓練に参加することで、周囲の人たちの理解や支援が得られることもあります

4. 避難物品の準備をしましょう

- 1週間分の物品を用意しましょう
- 医療的ケア物品はもちろん、一般的な生活物品も備えましょう
- ご自宅用のチェック表を作成しておくといいでしょう
- 袋やリュックなどすぐに携行できるようにしておきましょう



5. 緊急時の連絡表を作成しましょう

- 緊急時の連絡先を把握し、いざという時に慌てないようにしましょう
- 災害時には携帯電話や固定電話は繋がりにくくなることもあるので、電話以外の連絡手段もあらかじめ考えておきましょう
- 自宅近くで、緊急時のサポートを受けられる場所を調べておくといいでしょう

参考資料（横浜市ホームページより）

[わたしの災害対策ファイル](#)

[横浜市 \(yokohama.lg.jp\)](http://yokohama.lg.jp)



6. 自宅をチェックしましょう

- 室内の環境を整えることで被害を減らすことができます

医療機器等の落下を防ぐために、
滑り止めシートなど使用しま
しょう

呼吸器の回路・カニューレ
の予備を準備しておきま
しょう

担架・抱っこ紐などの移動
手段についても考えておき
ましょう

防災リュックはベッドサイド
に置きましょう

落下する可能性がある物は、
ベッド付近に置かないよう
にしましょう

ベッドのキャスターは、
大きな揺れに備えて対角
または壁側をロックしま
しょう
転倒防止の固定器具を
つけておくと安心です

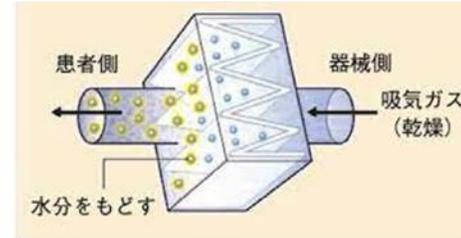
近くに窓がある場合は、
割れて飛び散らないように
フィルムやテープを貼っ
ておきましょう



電動ベッドは、停電時
の手動操作方法を確認
しておきましょう

7. 電源が不要な医療機器を活用しましょう

用意するだけでなく
使って慣れておくと安心です



- 手動式吸引器
- 足踏み式吸引器
- シリンジ+吸引カテーテル
- 酸素ボンベ（酸素濃縮器から変更）
- 蘇生バッグ（呼吸器の代替）
- 人工鼻（呼気を利用した湿度保持）

*** 人工鼻と加温加湿器の併用はできません。
加温加湿器に接続する際は人工鼻を外しましょう。**

8. ① 電源の確保を行いましょう



- 1) 使用している医療機器の予備バッテリーを確保しましょう
✓ 災害時に慌てないよう、1か月ごとの充電を心がけましょう
- 2) 医療機器の種類や機種によって消費電力は違います
✓ 医療機器の消費電力を確認しましょう

電源が不要な医療機器と組み合わせて
電源を使う医療機器の優先順位を考えておくことも大切です

② 電源の確保を行いましょう

3) 非常用電源の種類 【バッテリー充電のための準備】

使用中にも充電しておけるようにバッテリーを複数準備すると安心です

- ソーラー充電
- 電気自動車からの電源（特にEV車・PHV車）
- 発電機（正弦波インバータ）

日ごろのメンテナンスや燃料備蓄が必要です
また屋内での使用は厳禁です

- ✓ 容量や出力形態（交流電源AC・正弦波 等）が使用する機器に適しているか確認をしましょう

4) 自治体から非常用電源購入費の助成を受けられる場合があります

*助成については自治体の福祉担当課や地域の医療的ケア児等
コーディネーター・相談支援専門員へご相談ください



地域の電源確保事業

※事前の登録・申し込みが必要になります

横浜市

(横浜市ホームページリンク参照)

要電源障害児者等 災害時電源確保支援事業

災害等による停電時の備えとして、非常用電源装置の給付を行います
横浜市 (yokohama.lg.jp)

災害時 要電源障害児等 登録制度

在宅で医療機器を使っている あなたのことを教えてください！
横浜市 (yokohama.lg.jp)

川崎市

(川崎市ホームページリンク参照)

在宅人工呼吸器使用者災害時電源給付事業

(city.kawasaki.jp)

医療的ケア児者への発災時の電源確保事業

(city.kawasaki.jp)

そのほかの地域にお住まいの方は、自治体のホームページ等から情報をご確認ください

停電に関する情報収集

東京電力パワーグリッド

東京電力パワーグリッド公式LINE：@tepcopgcc
→停電状況の確認

東京電力パワーグリッド公式アプリ「TEPCO速報」
→登録地域の停電情報のお知らせ
避難施設と停電状況の確認

呼吸器等医療機器の電源の確保について、日ごろから備えましょう

神奈川県立こども医療センター地域連携・家族支援局作成

防災パンフレット

備えていますか？

～災害が起きたらどうする！？～

みなさんの声～我が家ではこのようにしています!～

◆備え編

- 車におむつ、注入道具など食品以外のものを常備。
ラコール、水なども多めに常備しています。
- 手動の吸引器を買った。
あんしんノートを作った。
- 呼吸器バッテリーを予備で準備している。
- 吸引器の充電は常にしておく。



◆東日本大震災時の体験編

- 電話が繋がらず、ショートステイ中だったが、安全確認ができなかった。
- 停電時、体温低下で困った。アルミシート、毛布でも体温が下がらなかった。
- 吸引器を使っていたので、計画停電でとても困った。
- 日ごろから買いだめしており、この時はとてもよかったと家族に言われた。
- ご近所から〇〇ちゃん大丈夫?と声をかけられてうれしかった。

参考サイトのご紹介

★神奈川県防災・災害情報



<https://www.bousai.pref.kanagawa.jp/>

★横浜市各区の地域防災拠点（指定避難所）

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/shelter/>

★横浜重心グループ連絡会～ぱざぱネット～

<http://pazapanet.web.fc2.com/ansin.pdf>



緊急時の支援をしてくださる方にいつもの様子を知ってもらうためにあんしんノートの作成がおすすめです。
(無料ダウンロード可)

(イラスト協力：きじまりえ)

作成：神奈川県立子ども医療センター地域連携・家族支援局2019年1月発行

このパンフレットのお問い合わせは保健福祉相談窓口まで

備えていますか？ ～災害が起きたらどうする!?!～



◆マイページ

冷蔵庫など見やすいところに貼り、避難時は持っていきましょう。
周囲に理解してもらうためにも記入してみましょう。

こどもの名前・ 生年月日・性別・血液型	年 月 日 性別 () 血液型 () 型
住所・保護者名 携帯電話番号	TEL :
支援者連絡先	① TEL : ② TEL :
病名 主治医・連絡先	① TEL : ② TEL :
アレルギー	
事業所（訪問看護等） 連絡先	① TEL : ② TEL :
教育機関	TEL :
かかりつけ薬局	TEL :
使用している機器 業者名・連絡先	人工呼吸器 酸素療法 吸引器 吸入器 経管栄養 その他 () TEL :
移動方法	自立 一部介助 車いす () 全介助 バギー その他 ()
お住いの地区の避難所	
一言メモ	

非常時準備品チェックリスト

●最低 1 週間分の備えをしておきましょう。半年に 1 回程度、点検しましょう。

品名	点検日	品名	点検日
<input type="checkbox"/> 食品、栄養剤、ミルク等		<input type="checkbox"/> 保温シートや毛布等	
<input type="checkbox"/> 薬、お薬手帳		<input type="checkbox"/> 懐中電灯（予備電池）	
<input type="checkbox"/> 診療材料（シリンジ、吸引チューブ、呼吸器加湿器の水、酸素カニューレ等）		<input type="checkbox"/> ビニール袋 サララップ	
<input type="checkbox"/> 衛生材料（ガーゼ等）		<input type="checkbox"/> 携帯電話充電電池	
<input type="checkbox"/> 蘇生物品（アンビューバック等）		<input type="checkbox"/> ティッシュ、ウエットティッシュ	
<input type="checkbox"/> 非常用電源		<input type="checkbox"/> 水	
<input type="checkbox"/> おむつ、おしりふき		<input type="checkbox"/> 着替え	



<食事面>

食事制限や食形態に配慮が必要なお子様（離乳食、注入など）は、各家庭で備えましょう。食品などは普段から少し多めに買い、使った分を買い足す**ローリングストック法**がお勧めです。また、お子様には普段から慣れており、かつ保存のきくものを備蓄しましょう。発達に合わせたスプーンやコップなども準備しておきましょう。

●食事形態：普通 軟食 ペースト(ミキサー)

経管栄養剤（ ）
1回（ ）cc

●経鼻栄養：

サイズ（ ）Fr
胃瘻：種類（ ）
サイズ（ ）Fr



<排泄面>

●排泄回数 尿：（ ）回/日 便：（ ）回/日
●方法 トイレで可能 おむつ その他 導尿 カテーテル（ ）Fr
人工肛門（パウチ）

<薬について>



お薬手帳は大切ですが、処方シールを撮影して遠方に住む親せきなどにメールで送るなど、大災害などでも対応できるように備えましょう。自宅内でもすぐに持ち出せる場所に保管することも有効です。また、内服時に必要なスポイト等も防災袋に入れておきましょう。

<避難方法をシュミレーション>

自宅が倒壊の危険がある場合は避難所へ移動する必要があります。誰とどんな方法でどこへ避難するのか想定し、家族内で相談しておきましょう。

医療機器などをもって避難するのは大変です。日頃から近所づきあいをし、いざという時に協力してもらえるよう**理解者を増やしましょう。**



<停電時の備え>

人工呼吸器使用の場合、停電や水がなくても使用可能な**回路用人工鼻**を準備しましょう。在宅酸素は酸素濃縮器に内蔵バッテリーがあれば1～2時間は作動するので、その間に酸素ポンペに切り替えます。**内蔵バッテリーの作動時間を確認しておきましょう。**人工呼吸器、在宅酸素療法等を使用している方は、電力会社に連絡をしておきましょう。発電機を備えることも検討してみましょう。**手動や足踏み式吸引器も検討しましょう。**

災害時は交通機関がとまる可能性も高く、停電も長引くことがあります。**普段から自宅近くの病院を受診し、緊急時のサポートを受けられるようにしましょう。**



<お住まいの市区町村で登録を>

自力で避難が困難な障がいのある方などのために、**要援護者登録制度**があります。自治会などの支援組織に市区町村が名簿を提供するものです。詳しくはお住まいの市区町村にお問い合わせください。



医療的ケア児登録フォーム

皆さんのお声や情報が保育や教育、災害時の支援につながります。
医療・福祉の施策情報等が届けるため、基本情報の登録が必要です。

医療的ケア児等のお名前・ご住所・医療的ケアの内容など基本情報をご登録いただき、
県及びお住まいの市町村で情報共有し支援施策の検討につなげる仕組みです。
神奈川県・横浜市のホームページよりご確認ください。

県内市町村
(横浜市を除く)

にお住まいの方



【e-kanagawa電子申請】
利用者管理：利用者ログイン

横浜市

にお住まいの方



医療的ケア児・者等支援促進事業実態調査
への登録をお願いします！ 横浜市
(yokohama.lg.jp)

2021年度内閣府「個別避難計画作成モデル事業」より
別府インクルーシブ防災事業 別府市作成

医療的ケアが必要な人と家族のための
災害時対応ガイドブック（支援者版）

国立成育医療研究センター
ホームページより

医療機器が必要な子どものための災
害対策マニュアル

～電源確保を中心に～(ncchd.go.jp)

参考資料

神奈川県ホームページより

医療的ケア児への支援について

(pref.kanagawa.jp)

医療的ケア児保護者等向けリーフレット
各市町村の医療的ケア児等コーディネーターや
その他の情報収集にお使ください

厚生労働省ホームページより

医療的ケア児等医療情報共有システム
(MEIS) について(mhlw.go.jp)

医療的ケア児等が全国どこでも必要な医療を受けられるように『医療等に関する情報を共有したい』という要望に応えるものです